

CentreCOM® LA100-PCM-T V2

取扱説明書・Windows® 2000 編

アライドテレシス株式会社

この度は、「CentreCOM LA100-PCM-T V2」アダプター(以下、本製品と表記)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品をWindows 2000のもとで正しくご利用いただくための手引きです。必要ときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。



注意

この取扱説明書に記載の内容は、Windows 2000の事前評価版をもとに作成されています。手順などが正式版のWindows 2000におけるものと異なっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。



注意

ここに挙げる手順は一例であり、お客様の環境によっては手順や表示画面が異なることがあります。本書の画面例はAT互換機/PC98-NXのもので、PC-9800/PC-9821では、ドライブ名などが異なりますのでご注意ください。なお本書では、フロッピーディスクドライブ名を「A:」と仮定しています。

| | |
|---------------------------|----|
| 5 ネットワークのトラブル | 11 |
| 5.1 LINK LEDは点灯していますか? | 11 |
| 5.2 LINK LEDは点灯しているが | 11 |
| 5.3 Auto-Negotiation機能 | 11 |
| 5.4 「近くのコンピュータ」が表示されない | 11 |
| A 付録 | 12 |
| A.1 製品仕様 | 12 |
| A.2 100/10BASE-T インターフェース | 12 |
| A.3 MACアドレス | 12 |
| B 保証・ユーザーサポート | 13 |

1 概要

1.1 特長

本製品は以下の特長をもつPCカード型LANアダプターです。

- PCMCIA Release 2.1 および JEIDA Ver.4.2 規格に対応
- データ転送はI/O方式を採用
- I/Oアドレス、インタラプトの設定が可能
- 10M bp(10BASE-T)/100M bp(100BASE-TX)の2つの速度に対応
- 動作状態表示 LED 付き接続メディアモジュールが付属 (RJ-45型10BASE-T/100BASE-TX共用ジャックを提供)
- Auto-Negotiation機能を搭載
- 半2重および全2重通信に対応 (ただし、100Mbpsの場合は半2重のみに対応)

1.2 対応コンピュータ機種

本製品は、PCMCIA Type II PCカードスロットを持つ以下のコンピュータ機種に対応しています。

- AT互換機およびNEC PC98-NX
- NEC PC-9800/PC-9821シリーズ (ただし、PC-9801NX/C、PC-9801NL/R、PC-9801NS/A、PC-9821Ne、PC-98互換機を除く)

1.3 各部の名称と働き

図1.3.1をもとに本製品の主要な部分の名称と働きを説明します。

目次

| | |
|-------------------------|----|
| 1 概要 | 1 |
| 1.1 特長 | 1 |
| 1.2 対応コンピュータ機種 | 1 |
| 1.3 各部の名称と働き | 1 |
| 1.4 ドライバーディスク | 2 |
| 2 取付・配線 | 3 |
| 2.1 PCカードの挿入 | 3 |
| 2.2 PCカードの取り外し | 3 |
| 2.3 メディアモジュールの取り付け | 3 |
| 2.4 メディアモジュールの取り外し | 3 |
| 2.5 LANへの接続 | 4 |
| 3 ドライバーのインストール | 4 |
| 3.1 用意するもの | 4 |
| 3.2 ドライバーの新規インストール | 4 |
| 3.3 インストールの確認 | 6 |
| 3.4 本製品の詳細設定 | 7 |
| 3.5 ネットワークの設定 | 7 |
| 3.6 ドライバーの更新 | 8 |
| 3.7 ドライバーの削除 | 9 |
| 3.8 本製品を一時的に使用しないとき | 9 |
| 4 ドライバーのトラブル | 10 |
| 4.1 本製品を認識しない | 10 |
| 4.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く | 11 |

LA100-PCM-T V2 本体

コンピュータのPCカードスロットに挿入し、LANアダプターの機能を提供します。

メディアモジュール接続コネクタ

「メディアモジュール」を接続します。

本体接続コネクタ

LA100-PCM-T V2 本体に接続するコネクタです。

脱着ツメ

メディアモジュールの脱着を行うためのツメです。メディアモジュールの脱着は、必ずこのツメを持って行ってください。

フェライトコア

電磁妨害を防ぐための部品です。取り付けたままご使用ください。

メディアモジュール

LA100-PCM-T V2 を LAN に接続するためのケーブルです。

LED

次の3つのLEDがあります。

POWER/TX (緑): LA100-PCM-T V2 本体に電源がオンのときに点灯し、送信時に点滅します。

LINK/RX (緑): 接続先機器と正常にリンクが確立されると点灯し、受信時に点滅します。

100M/FULL: 10Mbps・半2重のとき消灯、10Mbps・全2重のとき緑色に点灯、100Mbps・半2重のとき橙色に点灯します。

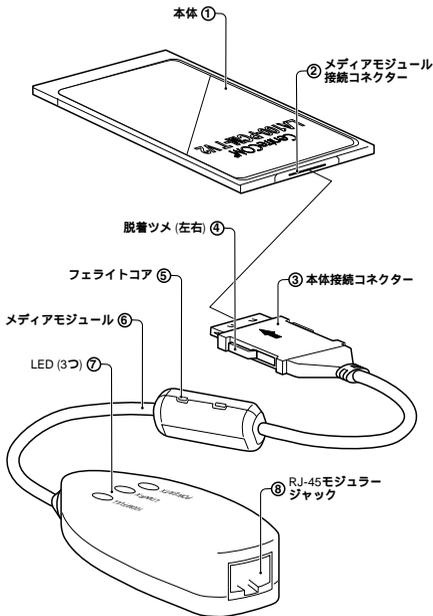


図 1.3.1

RJ-45 モジュージャック

UTPケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)を接続するコネクタです。

MAC アドレスラベル

本製品のMACアドレスが記載されています。MACアドレスについては、付録A「MACアドレス」をご覧ください。

警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記されています。必ずお読みください。

シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されています。同じものが、3枚程同梱されており、パッケージ(外箱)にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベルは、「お客様インフォメーション登録カード」と「永久保証書」に貼付してください(残る1枚は予備です)。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

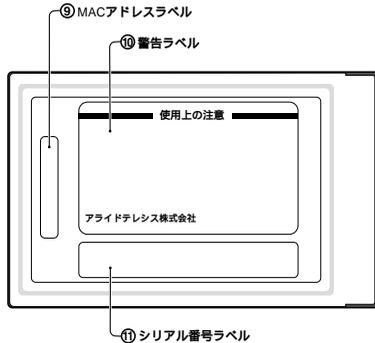


図 1.3.2

1.4 ドライバードиск

本製品には、下記の2種類のドライバードискが付属しています。ご使用のコンピュータ機種に合わせてご使用ください(PC-98 互換機には対応していません)。

- AT 互換機 / NEC PC98-NX 用
- NEC PC-9800 / PC-9821 用

Windows 2000 用ドライバーは、「¥win2000」ディレクトリに置かれています。また、必ずドライバードискに含まれる「README.*」ファイルをお読みください。「README.*」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報が書かれています。



README.1ST(Read me first.)ファイルには、ドライバードискの詳細なディレクトリ構造やドライバードиск全体に関わる情報が記載されています。各ディレクトリの中には、それぞれのドライバーに関連する README ファイルが存在します。

2 取付・配線

2.1 PC カードの挿入

Windows 2000は、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットに挿入することができます。

- (1) 「LA100-PCM-T V2」の文字が印刷された面を上にしてコンピュータのPCカードスロットに挿入し、本製品をカチッと手応えがあるまで押し込んでください。



警告 コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違えて装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PCカード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (2) 本製品をPCカードスロットに挿入すると、Windows 2000はPlug & Play機能により本製品を検出します。



注意 初めて本製品を挿入したとき、すなわち本製品用のドライバーのインストールが行われていない場合、新しいハードウェアの検出ウィザードが開始されます。詳細は、後述の章をご覧ください。

2.2 PC カードの取り外し

Windows 2000は、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。



警告 以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows 2000 ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- (1) ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えばTelnetやデータベースアプリケーションなどを全て終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、全て切断してください。
- (2) タスクバーのPCカードアイコン(デスクトップ右下)をクリックします。



図 2.2.1 PC カードアイコン

- (3) 「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card を停止します」バーが表示されたらバーをクリックしてください。



図 2.2.2

- (4) 「OK」をクリックしてください。



図 2.2.3

- (5) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押してください。本製品は、PCカードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。



警告 メディアモジュールを引っ張ってPCカードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品、メディアモジュールの故障の原因となります。

2.3 メディアモジュールの取り付け

下図のように、矢印を上にし、コネクターの左右にある脱着ツメを押さえながら、LA100-PCM-T V2本体のコネクターに「カチッ」と音がするまで押しこんでください。押し込んだらメディアモジュールを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してください。

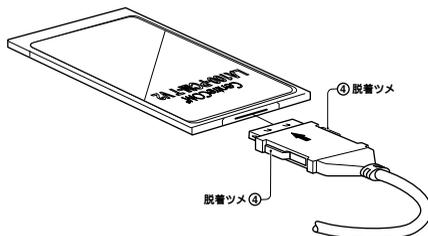


図 2.3.1

2.4 メディアモジュールの取り外し

メディアモジュールの脱着ツメを親指と人差し指でつまみながら引いてください。



警告 メディアモジュールに無理な力をかけて引き抜くことは、絶対におやめください。PCカード、メディアモジュール双方が破損する恐れがあります。

2.5 LAN への接続



稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

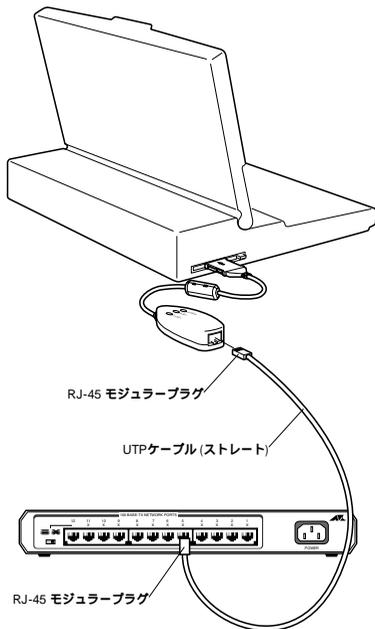


図 2.5.1

- (1) UTP ケーブルの一方の端に付いたプラグを、メディアモジュールのRJ-45モジュラージャックにカチッと音がするまで差し込んでください。両端のプラグのどちらを差し込んでもおかまいません。



UTP ケーブル(シールドなしツイステドペアケーブル)は、10BASE-Tの場合はカテゴリ3以上、100BASE-TXの場合はカテゴリ5のもので、ストレートタイプをご使用ください。

- (2) UTPケーブルを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
- (3) UTPケーブルのもう一方の端のプラグを接続先機器(ハブやスイッチ)のモジュラージャックに差し込んでください。手順は、上記(1)と同様です。

UTPケーブルの外し方

プラグの爪を指で押えながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。

3 ドライバーのインストール

ここにあげる手順は一例であり、お客様の環境によっては、手順や表示画面が異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

アップデートインストールについて



Windows 95/98/NTからWindows 2000へのアップデートインストールにおける、本製品ドライバーのインストールや注意点などの情報は、ドライバーディスクの「*README.2K」をご覧ください。

3.1 用意するもの

- LA100-PCM-T V2 アダプター、メディアモジュールなど
- コンピュータ(PC カードスロット付き、Windows 2000 インストール済み)
- ドライバーディスク(本製品に付属)

3.2 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーをWindows 2000に新規インストールする手順を説明します。ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します。本製品のドライバーは、付属のドライバーディスクからインストールされます。



以下の手順を実行するには、Administrators グループ所属のユーザー名でログオンしてください。

- (1) 本製品をコンピュータのPC カードスロットに取り付けていない状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows 2000 を起動してください。
- (2) コンピュータのPC カードスロットに本製品を挿入してください。
- (3) Windows 2000 によってPC カードの挿入が検知され、「新しいハードウェアが見つかりました」という表示の後に、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

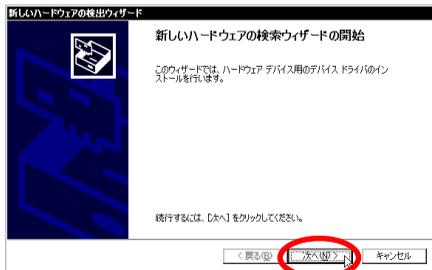


図 3.2.1

- (4) 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

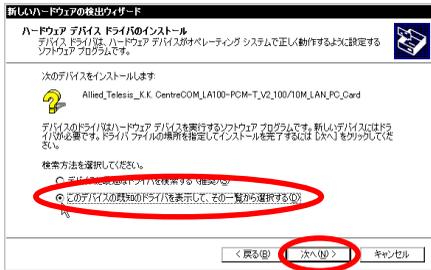


図 3.2.2

- (5) スクロールバーで表示をスクロールさせ、一覧から「ネットワークアダプタ」を選択して、「次へ」をクリックしてください。

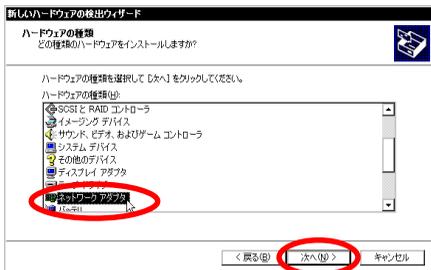


図 3.2.3

- (6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」をクリックしてください。



図 3.2.4

- (7) 本製品付属のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「製造元のファイルのコピー元」に「A: ¥win2000」と入力して、「OK」をクリックしてください。

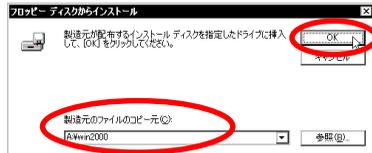


図 3.2.5

- (8) Windows 2000によってドライバーディスクが走査され、次のダイアログが表示されます。「次へ」をクリックしてください。

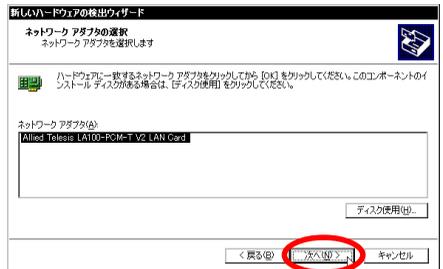


図 3.2.6

- (9) 次のダイアログで、ハードウェアデバイスの名称が「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」となっていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。



図 3.2.7

- (10) 次のようなダイアログが表示されることがありますが、その場合は「はい」をクリックしてインストールを続けてください。(Microsoft デジタル署名はありませんが正常に動作します。)



図 3.2.8

(11) 「完了」をクリックしてください。

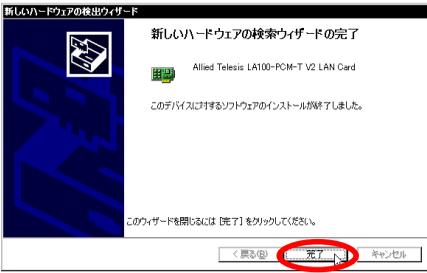


図 3.2.9

(12) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「3.3 インストールの確認」にお進みください。

3.3 インストールの確認

デバイスマネージャでドライバーのインストールが正常に行われていることを確認します。

(1) 「スタート」「設定」「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。



図 3.3.1

(2) 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします。

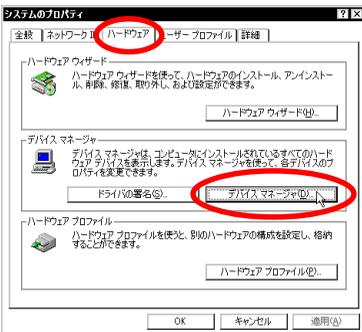


図 3.3.2

(3) 「ネットワークアダプタ」アイコンの左の「+」をクリックし

てください。インストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」が表示されます。



図 3.3.3

本製品のアイコンに「x」「?」「!」などのマークが付いていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「4 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

(4) 「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」をダブルクリックしてください。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。



図 3.3.4 デバイスの状態

(5) 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) など、Windows 2000 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。



図 3.3.5 リソースの確認

3.4 本製品の詳細設定

本製品のポート (RJ-45 モジュラージャック) は、「Auto-Negotiation」に設定されており、接続先機器との通信速度 (10/100Mbps) やモード (Full/Half Duplex) は、本製品の Auto-Negotiation 機能によって自動的に設定されます。Auto-Negotiation をサポートしていない機器に接続した場合、Auto-Negotiation 機能が正しく働かないため、ご使用になりたい状況に合わせて以下のように設定してください。

「デバイスマネージャ」で「ネットワークアダプタ」の「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」をダブルクリックし (図 3.3.3 参照)、「詳細設定」タブの「値」から適切な項目を選択してください。



図 3.4.1

- Auto-Negotiation (デフォルト)
Auto-Negotiation を有効に設定します。この項目を選択した場合、接続先機器が Auto-Negotiation をサポートしていれば、可能な最高の速度およびモードとなります。接続先機器が Auto-Negotiation をサポートしていない場合、通信速度のみを検出し、検出された速度の Half Duplex モードとなります。
- 100Mbps Half Duplex
100Mbps の Half Duplex (半二重) モードに設定します。
- 10Mbps Full Duplex
10Mbps の Full Duplex (全二重) に設定します。
- 10Mbps Half Duplex
10Mbps の Half Duplex (半二重) に設定します。

3.5 ネットワークの設定

次にネットワークの設定を行います。ここでは多くの環境で必須と思われる TCP/IP の基本設定についてのみ説明します。TCP/IP の詳細設定や他のプロトコルの設定については、Windows 2000 のネットワーク設定に関する参考書を参照していただくか、システム管理者にご確認ください。

TCP/IP の設定

(1) 「スタート」「設定」「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択してください。



図 3.5.1

(2) 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリック^{†1}し、「プロパティ」をクリックします。



図 3.5.2

(3) 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックし、「プロパティ」をクリックしてください。



図 3.5.3

(4) TCP/IP パラメーターの設定を行います。

IP アドレスを自動設定する場合 (DHCP を使う)

ネットワーク環境が DHCP サーバーによって運用されている場合、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、「OK」をクリックしてください。

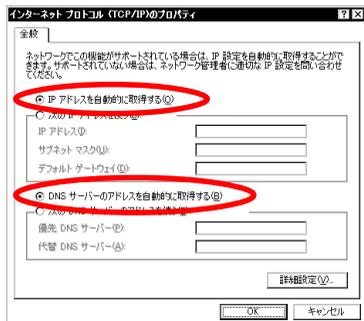


図 3.5.4

†1 「マウス」の「右ボタン」をクリックする操作です。

IPアドレスを手動で設定する場合(DHCPを使わない) ネットワーク環境がDHCPサーバによって運用されていない場合、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「優先DNSサーバ」、「代替DNSサーバ」のIPアドレスを入力し、「OK」をクリックしてください。

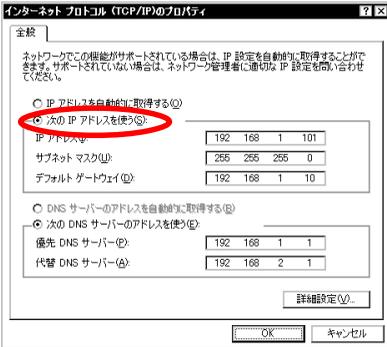


図 3.5.5

図 3.5.5 は、あくまでも設定例です。IP アドレスの設定について詳しくはシステム管理者にご確認ください。

(5) 「OK」をクリックしてください。これで TCP/IP の設定は完了です。

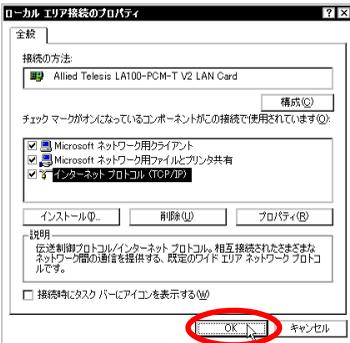


図 3.5.6

3.6 ドライバの更新

ドライバーの更新は、弊社のホームページ <http://www.allied-teleasis.co.jp/> などから、本製品用の最新のドライバーを入手した場合には実行します。



以下の手順を実行するには、Administrators グループ所属のユーザー名でログオンしてください。

注意

(1) 「コントロールパネル」、「システム」と進み、「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。「ネットワークアダプタ」の「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」をダブルクリックしてください(図 3.3.3 参照)。

(2) 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックしてください。



図 3.6.1

(3) 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

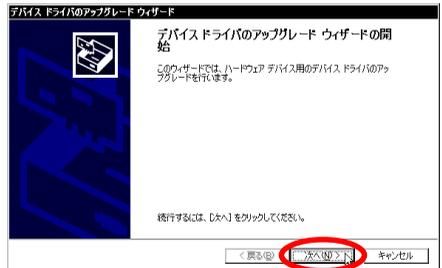


図 3.6.2

(4) 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

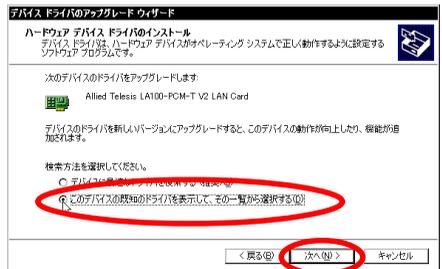


図 3.6.3

(5) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」をクリックします。

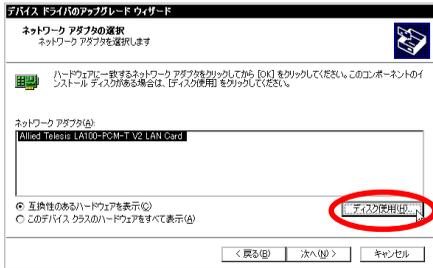


図 3.6.4

- (6) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「製造元のファイルのコピー元」に「A: ¥win2000」と入力して、「OK」をクリックしてください。

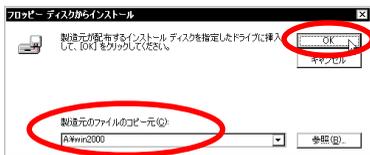


図 3.6.5

- (7) Windows 2000によってドライバーディスクが走査され、次のダイアログが表示されます。「次へ」をクリックしてください。



図 3.6.6

- (8) 次のダイアログで、ハードウェアデバイスの名称が「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」となっていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。



図 3.6.7

- (9) 次のようなダイアログが表示されることがありますが、その場合は「はい」をクリックしてインストールを続行してください。(Microsoft デジタル署名はありませんが正常に動作します。)



図 3.6.8

- (10) 「完了」をクリックしてください。以上でドライバーの更新は終了です。

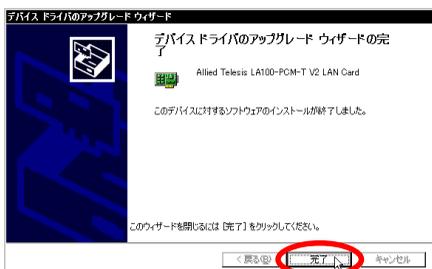


図 3.6.9

3.7 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合は、ドライバーをいったん削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、間違ってインストールされたドライバーをまず削除してから再びインストール作業を行います。「4.1 本製品を認識しない」にドライバー削除の方法が記されていますので、そちらをご覧ください。

3.8 本製品を一時的に使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、たとえばUTPケーブルを本製品から外すような場合は、下記の手順にしたがって本製品のドライバーを無効にしてください。

- (1) 「スタート」「設定」「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。
- (2) 「システムのプロパティ」で「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

- (3) 「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」を右クリックし、「無効」をクリックしてください¹⁾。

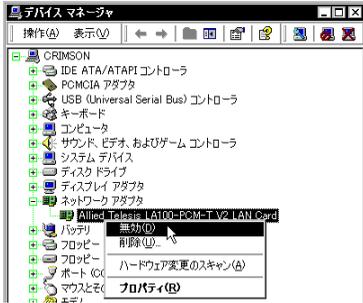


図 3.8.1

- (4) 「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」のアイコンに「x」が付き、ドライバーが無効になります。

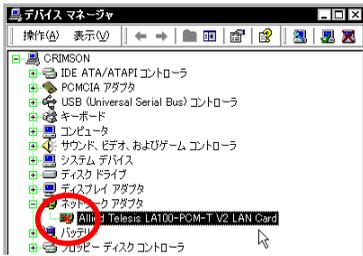


図 3.8.2

- (5) 再び、本製品を使用するときは、「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」を右クリックし、「有効」をクリックしてください。

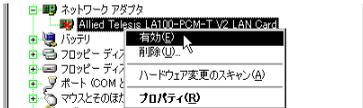


図 3.8.3

4 ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。



注意

以下の手順は、本製品を PC カードスロットに取り付けた状態で行ってください。

¹⁾ 「コントロールパネル」 「ネットワークとダイヤルアップ接続」の「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、「無効にする」を選択しても同じ結果となります。

4.1 本製品を認識しない

「3.3 インストールの確認」にしたがってインストールの確認を行った際に、「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」アイコンの表示が以下になっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

- 1 正常にインストールできない
- 2 PC カードが検出されない
- 3 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 4 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- 5 本製品のアイコンに「!」?マークが付く

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」アイコンを右クリックし、「削除」をクリックします。

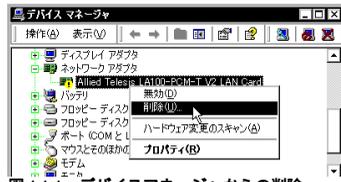


図 4.1.1 デバイスマネージャからの削除

- (2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



図 4.1.2 デバイス削除の確認

- (3) 「本製品のアイコンが消えていることを確認してください。



図 4.1.3 削除後のデバイスマネージャ

- (4) Windows 2000を終了し「スタート」「シャットダウン」「シャットダウン」「OK」) コンピュータの電源をオフにします。
- (5) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押し、本製品を取り外してください。
- (6) 「3.2 ドライバーの新規インストール」の手順を参考にし、本製品のドライバーをインストールします。



一度でも本製品のドライバーのインストールを行うと、ドライバーに関する情報がコンピュータに保存されます。そのため、ドライバーの削除を行った後の「ドライバーの新規インストール」手順では、一部のダイアログが表示されないことがあります。表示される指示にしたがって操作してください。

4.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く

デバイスマネージャの「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」アイコンに「x」マークが付いている場合は、デバイスが「無効」に設定されています。以下の手順にしたがって「有効」に切り替えてください。

- (1) 「Allied Telesis LA100-PCM-T V2 LAN Card」のアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから「有効」を選択します。

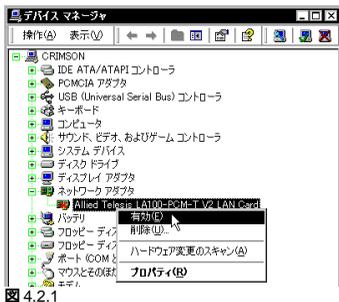


図 4.2.1

5 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

5.1 LINK LED は点灯していますか?

LINK LEDは、接続先機器(ハブやスイッチ)と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LEDは、本製品と接続先機器の両方に存在します。本製品と接続先機器の両方のLINK LEDが点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- 接続先機器の電源がオンになっているか確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。

- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品と接続先機器との接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。

- 接続先機器のポートの設定が正しいか確認してください。機器によっては、機器同士を接続するためのポート(カスケードポート)を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続するときは、カスケードポートの設定スイッチで同ポートを「MDI-X」や「to pc」に設定しなければなりません(通常のハブやスイッチのポートとして設定する)。

- 接続先機器の特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

- UTPケーブルに問題はありますか? ケーブルの不良は外観から判断しにくい(結線が良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試験してみてください。

- 接続先機器の通信速度、カードの通信速度を確認してください。「3.4 本製品の詳細設定」を参考にして、接続先機器に合った速度を選択してください。

5.2 LINK LED は点灯しているが...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTPケーブルの長さは正しいですか? ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長100mと規定されています。

- 正しいUTPケーブルを使用していますか? 100BASE-TXでは「カテゴリ-5」、10BASE-Tでは「カテゴリ-3」以上のUTPケーブルを使用しなければなりません。

- UTPケーブルに問題はありますか? ケーブルの不良は外観から判断しにくい(結線が良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試験してみてください。

5.3 Auto-Negotiation 機能

本製品のポート(RJ-45 モジュラージャック)は、「Auto-Negotiation」に設定されており、接続先機器との通信速度(10/100Mbps)やモード(Full/Half Duplex)は、本製品のAuto-Negotiation機能によって自動的に設定されます。しかしながら、Auto-Negotiationをサポートしていない機器に接続した場合、正常に機能しない場合があります。ご使用になりたい状況に合わせて設定を変更するには、「3.4 本製品の詳細設定」を参照してください。

5.4 「近くのコンピュータ」が表示されない

「マイネットワーク」の「近くのコンピュータ」に他のコンピュータが表示されない場合は、コンピュータの識別情報(ネットワークID)が適切に設定されているかどうかを確認してください。ネット

ワークIDは、「コントロールパネル」「システム」「ネットワークID」タブで確認および設定ができます。



図 5.4.1

A 付録

A.1 製品仕様

1. ハードウェア仕様

カード規格：

PCMCIA Release 2.1/JEIDA Ver. 4.2

信号：

IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX、
IEEE802.3u Auto-Negotiation

2. 機械的仕様

外形：

カード：85.6 × 54.0 × 5.0 mm (Type II PC Card)

メディアモジュール：220 × 26 × 21 mm

重量：

カード：30 g

メディアモジュール：25 g

3. 電気的仕様

動作電圧：DC + 5V ± 5%

消費電流：400 mA (max)

消費電力：2.0 W (max)

発熱量：1.66 Kcal/h (max)

4. 環境条件

動作保証温度：0 ~ 55 注1

保存温度：-20 ~ 80

動作・保存湿度：95%以下(ただし、結露なきこと)

注1 本製品(PCカード)の周囲温度であり、コンピュータの周囲温度ではありません。

5. 電気雑音の発生防止

雑音端子電圧：VCCIクラスB

雑音電界強度：VCCIクラスB

6. ネットワーク機能

転送速度：10M/100M bps

I/Oアドレス：

Windows 2000により自動設定される(連続した32バイトを占有)

インタラプト：

3, 4, 5, 6, 7, 9, 10(A) 11(B) 12(C) 15(F)

A.2 100/10BASE-T インターフェース

本製品に付属のメディアモジュールは、RJ-45型と呼ばれるモジュラージャックを使用しています。図A.2.1に、100/10BASE-T モジュラージャックの信号線を図示します。

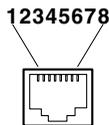


図 A.2.1 RJ-45 モジュラージャック

- | | |
|---------|----------|
| (1) TX+ | 送信データ(+) |
| (2) TX- | 送信データ(-) |
| (3) RX+ | 受信データ(+) |
| (4)--- | 未使用 |
| (5)--- | 未使用 |
| (6) RX- | 受信データ(-) |
| (7)--- | 未使用 |
| (8)--- | 未使用 |

A.3 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MACアドレス^{注2}と呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MACアドレスは機種(アダプター)のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の(unique、ユニークな)アドレスです。

注2 MACアドレス(マックアドレスと読みます)は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MACアドレスは、TCP/IPの環境で使用されるIPアドレスに関係がありますが、これらは別べつのもです。

MACアドレスは、下記の6バイト(48ビット)によって構成されており、本アダプターの内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品のMACアドレスは、製品裏面に貼付されているMACアドレスラベルに記入されています(表記は全て16進数)。

| | | | | | |
|--------|----|----|------|----|----|
| 00 | 00 | F4 | 96 | xx | xx |
| ベンダーID | | | 通し番号 | | |

- ベンダーID
LANベンダー(LAN用機器を製造しているメーカー)がIEEEに申請することにより得られる識別番号。

- 通し番号
この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、LA100-PCM-T V2は、96から始まる6桁の数値となっています

まず、この通し番号と本製品裏面の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。

B 保証・ユーザーサポート

ユーザーサポートをお受けになる場合は、「調査依頼書」に必要事項をご記入いただき、Windows 2000のシステムレポートを添付して、弊社サポートセンターにファクスしてくださいませようようお願い申し上げます。保証、ユーザーサポート、調査依頼書、最新ドライバーの入手方法の詳細は、別紙「取扱説明書・Windows95編」をご覧ください。



ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2000 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOMはアライドテレシス株式会社の登録商標です。
Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

2000年02月 Rev.A 初版

安全のために



必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)



異物厳禁

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所注意



注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

高温注意

本製品の使用直後は高温になっています。不用意に触ると、火傷の恐れがあります。



高温注意

運搬時の注意

本製品をコンピュータのPCカードスロットに装着したままでコンピュータを運搬するときには必ず付属のケーブルを外してください。



ケーブルを外せ

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度95%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品・ケーブルは、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り付け・取り外しのときの注意

コンピュータのPCカードスロットに本製品を取り付ける作業は、必ず本マニュアル及び、ご使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。



長期保管時は袋に入れて

本製品を長期にわたって保管する場合は、必ず添付の袋（静電防止）に入れてください。



取り扱いはいないに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤
使用



強く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

- ・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー類
不可

